



かなぎ



申年の五穀豊穣を願い

1月1日、八幡宮で金木さなぶり荒馬踊を奉納する保存会。

町の花



さくら

町の鳥



ひばり

町の木



ひは



年頭のあいさつ

新年、明けましておめで
とうございます。

冷夏冷害の不況続きを一
掃したいものだ。新年早々
意気込んでおります。

金木町は、観光立町を掲

げて久しくなりますが、年

間十万人を超える入館者で

賑わう太宰治記念館「斜陽

館」や「津軽三味線会館」に

加え、昨年暮れには津軽鉄

道金木駅舎を併設した待望

の「交流プラザ」が完成した

ことで津軽半島北部の観光

の玄関口としてますます観

光客が増加するものと関係

者一同期待を寄せています。

今年、定住人口の変化

と限られた財政運用の中で

引き続き社会基盤整備を回
りながら町営住宅の建て替



町長

鳴海義男

ですが、今後皆様方に対して
十分な説明をし、迫り来る
特例法の期限内に十分な議
論を経て的確に対応してい
きたいと考えております。

長引く不況と低迷する経

済事情に加えて、水稲を主

体とした基幹の農業事情は

年々厳しさを増しております

すがトマト、きぬさや、な

がいの等々による野菜の産

地化を図るほか花卉栽培の

推進や転作大豆、転作そば

の商品化を確立し農業所得

の向上に結び付けたいと思

います。

元気で幸せな町づくりを

進めるため、今後とも皆様

のご支援を切にお願い申し

上げ、年頭のごあいさつと
いたします。



年頭の辞

議長

三鴻春樹

謹んで初春のお慶び申し上げます

金木町議会

- 副議長 中谷秀八
- 議員 高杉利彦
- 議員 田中昇
- 議員 古川幸治
- 議員 秋元洋子
- 議員 田中賢一
- 議員 伊藤永慈
- 議員 川口隆
- 議員 原田寛
- 議員 野宮一穂
- 議員 桑田茂
- 議員 小田桐喜吉

明けましておめでとうございませう。

輝かしい新春を迎え町民の皆様方に町議会を代表して心よりお慶びを申し上げます。



皆様方には、常日頃より町政運営につきましまして格別なご理解とご協力を賜わりまして心から感謝と御礼を申し上げます。

を有するなど極めて厳しい状況にあります。地方においても毎年巨額の財源不足を生じており、その借入金残高は、平成十五年度末で約百九十九兆円にのぼると見込まれています。

ご承知のように昨年は、不順天候により農作物全般に被害を受け、特に本県の米の作況指数は、全国最低の「五十三」で十年ぶりの大凶作となり、長引く雇用情勢の低迷や厳しい経済状況に追い討ちのかかった状態となりました。

さて、近年我が国の財政は、税収が落ち込む中で国・地方ともに巨額の債務残高

このような状況を踏まえると、今後地方財政全般にわたり、歳出の抑制が求められ、各地方公共団体は、コスト意識を持つて事務・事業に取り組み、地域における多様なサービスの提供方法の検討など、より一層効果的かつ効率的な行財政

運営を行うことが必要とされているところであります。このようなことから、当町におきましても、これまでの事務事業の見直し、総点検を図り、町行財政の改善を引き続き強力で推進して参る所存であります。

本年も、内外の経済、社会情勢の厳しい中ではあります。本町議会の果たすべき役割と責任を自覚し、町民の皆様のご期待に添うべく懸命な努力をいたして参ります。

どうか、町民の皆様方の温かいご支援、ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。併せて、皆様方の益々のご健康、ご多幸をお祈りいたしました新春のごあいさついたします。

町の玄関

金木交流プラザ

落成

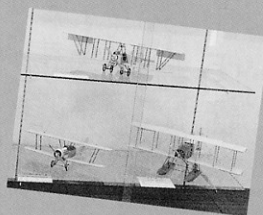
金木町の玄関として、駅舎に観光客と町民の憩いの場を兼ね備えた「金木交流プラザ」が完成し平成十五年十二月二十五日、関係者約六十人が出席して安全祈願祭と落成式典が行われました。

一階エントランスホールで行われた安全祈願祭では鳴海町長らが玉串を奉納。引き続きプラザ正面入口前で町民ら約八十人が見守る中、テープカットで完成を祝いました。

この後、二階交流ホールでの落成式典では鳴海町長が「駅の改築と合わせて観光客と町民の交流の場として当該施設が完成したことにより今後の観光客の増加を期待している」とあいさつし、プラザ完成に寄与した関係者に対して



金木交流プラザ



ヒバの柱が目目を引くエントランスホールのショーケースには、津軽三味線発祥や斜陽館に当町出身で日本人初のプロ飛行家白戸栄之助氏を紹介、神明町の下澤力さんが製作寄贈した白戸氏が使用したプロペラ複葉機の模型が展示。

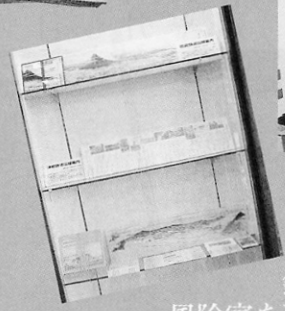
椅子式階段昇降機を備えた階段を上った交流ホールからは岩木山が一望できる。





感謝状が贈呈されました。続いて祝賀会が行われ乾杯で落成を祝い、出席者に津軽三味線の演奏が披露されました。交流プラザは、当町を訪れる観光客や津軽鉄道利用者から寄せられた駅舎の老朽化とトイレの不備の指摘を解消するために、平成十五年七月中旬から工事を着工し同年十二月中旬に延べ床面積四一〇・六七㎡、事業費一億三千四百八万五千円（内訳Ⅱむつ小川原地域・産業振興財団から助成金五千万円、残額のほとんどは起債借入）で完成。外見は斜陽館をイメージした赤い屋根にレンガ風の壁で、一階は駅舎とエンタランスホールが併設し、このホール中央には幹周三・七mのヒバの柱が置かれ鉄道やバス利用者の待合と休憩所として利用。二階には観光客と町民の交流と町民集会の場としての機能を果たす交流ホールが設けられ、普段は軽食喫茶コーナーとして利用されます。翌二十六日から、全面開館となった交流プラザは駅舎部分を津軽鉄道が、その他の部分については南新町町内会が運営し、町の玄関としての役割を担っていきます。

**太宰のみるさと
津軽鉄道 金木駅**



入口風除室のショーケースには、津軽鉄道発足の基となった陸奥鉄道沿線案内（大正15年12月発行）と津軽鉄道沿線案内（昭和5年7月発行）などを展示。風除室を過ぎると、左にトイレを配置した待合室、直進で券売機、プラットフォームへと続く駅舎内。

喜良市小学校



平成15年度青森県健康推進学校 最優秀校受賞

喜良市小学校が、校内の健康推進活動の充実と地域と一体となった健康活動が認められ、平成十五年度青森県健康推進学校小規模校の部で最優秀校として表彰されました。

またこれにより平成十六年九月十日に開催予定の第四十三回青森県健康教育発表会開催校として推薦されたことから十二月十七日、小田川校長と六年生の今優輔くんと今涼二くんが町長室を訪れ、鳴海町長に報告しました。報告を受けて鳴海町長は「大変な快挙です。町としても協力しますのでがんばってください」と激励しました。

受賞について、今くんらは「県で二つしか貰えない賞なのでとてもビックリしました」と話していました。



町民新年の集い



平成十六年の「町民新年の集い」が一月六日、中央公民館で開催され、町の各代表者や一般町民ら約百四十人が出席しました。

はじめに、対馬裕子さんのピアノ伴奏に合わせて出席者全員で君が代と一月一日を斉唱。続いて鳴海町長と三瀨議長が年頭のあいさつ、工藤勇蔵町体育指導員会長が「何をやるにしても腹八分目にとめておき、今年一年明るく楽しく元気にまい進しようと思っております」と年頭の抱負を述べました。引き続き津軽三味線奏者の長谷川裕青さんによるあいや節と曲弾きを披露。

この後、今誠康町商工会長の音頭で乾杯し、今年の飛躍を誓い合いました。